

## 【平成30年度 穴吹高等学校 学力向上実行プラン】

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者評価	次年度への課題・改善策
1 学習意欲が乏しく、基礎学力が定着していない生徒がいる。	1 自らの将来を具体的に思い描き、主体的に学習することを通して、基礎学力の伸長と進路実現を図る。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価  (評定)	
		1 基礎学力養成のため校内で漢字テストおよび英単語テストを実施し、年間平均85点以上の優秀者の割合を漢字テストでは各学年25%以上、英単語テストでは各学年15%以上を目指す。	1		
		2 1年生で国語・数学・英語の基礎教科に関して学び直しを行い、認定テストの最上級の合格率を80%以上とする。	2		
		3 学力の定着を図るため家庭学習を促し、特に定期考査期間中、各学年において一人あたりの1日平均学習時間2時間以上を目指す。	3	(所見)	
		活動計画	活動計画の実施状況		
		1 実施日に向けて国語科・英語科を中心に事前対策を行い、各学年・クラスでも学習を奨励し、校内表彰に加えて学年表彰を設けることで漢字および英単語の習得を奨励する。	1		
		2 授業および課外学習での学習時間を確保するとともに、定期考査の範囲に盛り込むことにより学習意欲の高揚と持続を図る。	2		
3 考査期間を含む1週間の家庭学習調査を実施し、生活スタイルの見直しや適切な学習内容について担任が助言する。	3				

2 学校生活でコミュニケーションを図れない、あるいは人間関係がうまく築けない生徒がいる。	2 生徒会活動や学校行事を通して、自主的・実践的な態度を育てる。	評価指標	評価指標による達成度	総合評価	
		1① 学校行事への参加生徒率90%以上を目指す。	1①	(評定)	
		② 生徒会役員があいさつ運動を毎週月・金曜日に実施する。	②		
		活動計画	活動計画の実施状況	(所見)	
		1① 生徒会や各クラスの生徒が自主的・主体的に企画・運営できるよう適切な指導を行う。	1①		
		② 生徒会役員がリーダーとなって積極的にあいさつを行い、全校生徒が挨拶を交わせる習慣を身につけさせる。	②		

\* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

【平成30年度 徳島県立穴吹高等学校 学力向上推進員 学殖向上検討委員】

学力向上推進員|北谷 恵美|学力向上検討委員|佐尾山 晴実 藤本 雅志 野田 委 妹尾 利子 長谷 高宏 佐藤 初恵 森實 琴美